



萩市
HAGI

議会だより

No. 36
2015.4.15

編集
議会だより編集委員会

発行
萩市議会
〒758-8555 萩市江向510
TEL0838-25-3144

萩は日本ジオパーク認定

をめぐっています

ジオパークとは
地域の自然に親しみ、その成り
立ちを学び、楽しむ場所です。

ホルンフェルス
写真上の中央部が、マグマの一部
が地表に出てきて、ホルンフェル
スとなった代表的なところでは

世界でも珍しい活火山群
鶴江台・中ノ台・狐島は、玄武岩の
小さな溶岩台地。この溶岩台地は世
界でも稀な、小さな火山です。



火山が作った萩三角州
萩三角州は、阿武川が運んできた
土砂によって作られました。
阿武川は、徳佐盆地にできた堰止
め湖が、長門峡付近で決壊し湖水
が流れ出してできた川です。



猿屋の滝（市文化財指定）
マグマが流れた時の川底や、マグ
マの幅・水蒸気が岩の中を通った
時の、穴の跡などが見られます。



3月
定例会

平成27年度萩市一般会計特別委員会	2～3
一般質問（15人が登壇しました）	6～10
常任委員会・特別委員会報告	11～13

予算316億5400万円

新しい時代の幕開け

一般会計予算審査特別委員会

本委員会は、3月13日・16日・18日の3日間を要し、慎重審査を行い採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

学校施設の耐震化完了へ

27年度は地方創生元年と言われるように、国の交付金と萩の魅力ある資源を最大限に活用した「萩の創生」に向けての諸事業が展開されます。

また、市内学校施設の整備事業が一挙に進むのも大きな特徴です。27年度末までに全ての公立小中学校施設の耐震化を完了させるための改修・新築工事が予定されています。

一方で、旧明倫小学校舎は、観光拠点・市民活動・資料展示の場などに活用される予定で、その関連予算が計上されています。主な事業については以下の通りです。

市役所第3駐車場にゲート式入出管理機設置

問 第3駐車場適正化事業では駐車場にゲート式入出管理機が設置されるそうですが、市民の駐車料金はどうなりますか。

答 第3駐車場は、市役所・市民館・福祉センター・萩図書館・児童館及び中央公園利用者のための駐車場にしていますが、それ以外の利用者が多く見受けられるようになったことや、萩・明倫センター駐車場が有

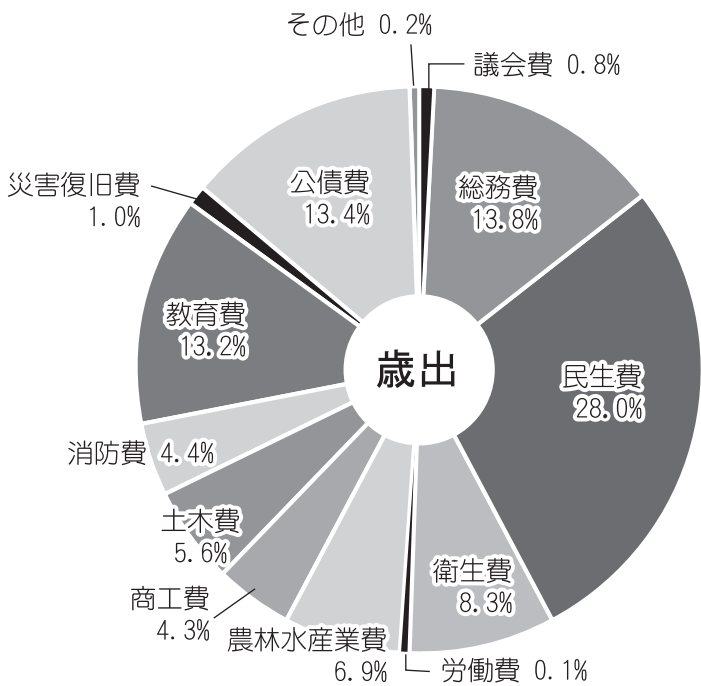
料になったことから市有財産の適正な利用管理を図るため、第3駐車場の有料化を行います。ただし、市役所・市民館・福祉センター及び萩図書館・児童館の利用者や中央公園及び大河ドラマ館を利用する市民の方は無料です。

マイナンバー制度導入

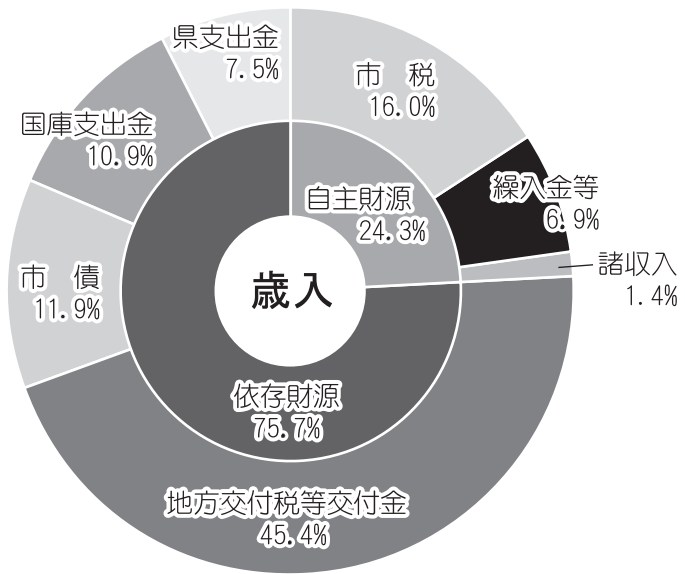
問 マイナンバー制度とは、

どのような制度ですか。

答 27年10月よりマイナンバー制度(番号制度)が導



歳出 学校施設耐震化を完了させるため、教育費が増加する一方、災害復旧工事の発注がほぼ済んだことにより、災害復旧費が大幅に減少しています。



歳入 自主財源(主として市税)の比率は24.3%で、国・県の補助金等に依存した予算となっています。交付税については、27年度から、漸減が開始されることから、昨年比べて7億円減額の119億円を予算計上しています。

平成27年度一般会計 地方創生元年

27年度に取り組む主な事業

○庁舎隣接用地取得事業 (5,128万1千円)

市役所本庁舎南側に隣接する土地が市内不動産業者から売り出されており、将来的にこの土地を福祉センター建替えの候補地又は駐車場用地等として活用するため取得を目指します。

○ジオパーク推進事業 (4,493万円)

平成28年度の日本ジオパーク認定を目指し、市民と一体となって萩ジオパーク構想を推進するため、構想の周知を図るとともに、協議会組織を立ち上げ「火山に育まれた萩の大地3億年の歴史を学び、今に活かし未来へ伝える」取り組みを行います。

○生活支援サービス体制整備事業 (838万8千円)

改正された介護保険制度では、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるようサービスの充実が求められています。そこで地域における生活支援介護予防の提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす「生活支援コーディネーター」と関係者による情報共有及び連携強化の場として中核となる「協議体」を設置し、高齢者を支える地域支え合いの体制づくりを推進します。

○子どものための教育・保育給付事業 (5億8,559万6千円)

乳幼児の教育、保育などに総合的に取り組む「子ども、子育て支援新制度」のスタートに伴い、従来バラバラに行われていた認定こども園、幼稚園、保育所及び事業所内保育所に対する財政支援の仕組みを共通化します。

○新規就農総合支援事業 (3,099万5千円)

持続可能な力強い農業実現のためには青年の新規就農者を大幅に増加させる必要があります。そこで、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、新規就農者の所得を確保するための支援を行います。

○新規漁業就業支援総合対策事業 (1,300万円)

担い手不足、高齢化が進む漁業では、漁業の存続、漁村の維持発展のため担い手を確保することが急務です。関係機関と連携し、これらの問題の解消を図ります。

○明木小中学校整備事業 (6億6,494万4千円)

老朽化した明木小学校及び明木中学校は耐震性が確保されていないため、明木小学校敷地内に小中併設の校舎及び屋内運動場を新たに建設し、さらに併設整備される明木図書館、児童クラブとともに教育環境の充実を図ります。

○東部地域定住促進住宅建設事業 (1億4,159万9千円)

萩市東部地域の復興及び人口減少対策として、市外在住者を対象に子育て世代向けの低家賃住宅を整備します。

入され国民一人ひとりにマイナンバーが通知されます。マイナンバーは、住民票を有するすべての方に1人ひとりの番号を付して、社会保障・税・災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人情報であることを確認するために活用

問 情報流出対策は万全ですか。
答 国から、対策は万全と聞いています。

問 旧明倫小学校跡地の今後はどう活用しますか。
答 旧藩校明倫館(旧明倫小学校)保存整備事業は、約10億円の投資に対し費用

問 観光客増加などの、シミュレーションを作ってはいかかいですか。
答 ご指摘のとおり、どのような効果が出るのかシミュレーションを作って進めていきたいと思えます。

問 内容に異論はありませんか。
答 合併当初から市債を減らす努力されている中で、約10億円の事業を行って、財政上問題はありませんか。
答 国からの補助や、地方債にも交付税措置がありま



平成26年度 3月補正予算(第5号)の概要

(単位：千円)

	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
第5号	37,441,402	231,502	37,672,904

歳出予算の主なもの

(単位：千円)

費目	事業名	補正額
【企画費】	◎<新規>萩市総合戦略策定事業 地方創生(先行型) 地方創生関連法の成立に伴い、今後5カ年の施策として、萩市版「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定します。	10,000
【地域調整費】	◎<新規>萩暮らし応援事業 地方創生(先行型) 若い世代のUJIターンを支援するため、空き家の改修や賃借に対して支援します。	9,800
【旧萩藩校明倫館活用推進事業】	◎旧萩藩校明倫館跡地(旧明倫小学校)保存整備事業 旧明倫小学校校舎の保存整備(2棟目)を行います。	86,200
【ジオパーク推進費】	◎ジオパーク推進事業 地方創生(先行型) 平成28年度の日本ジオパーク認定を目指し、整備計画の策定等ソフト事業を推進します。	13,670
【消費喚起・生活支援交付金費】	◎<新規>多子世帯生活支援事業 地方創生(生活支援型) 中学生以下の子供が3人以上の世帯に対し、萩市共通商品券1万円分を配布します。	5,500
	◎<新規>後期高齢者生活支援事業 地方創生(生活支援型) 75歳以上の後期高齢者の方に、萩市共通商品券5千円分を配布します。 (但し、課税者に扶養されている方及び生活保護者等を除く。)	33,020
	◎<新規>プレミアム付商品券発行支援事業 地方創生(消費喚起型) 消費喚起策として、全世帯を対象に商品券引換葉書を送付し、プレミアム付萩市共通商品券の発行を支援します。	88,960
【児童福祉総務費】	◎<新規>児童クラブ地域人材活用事業 地方創生(先行型) 児童クラブにおいて、お年寄りを招いて「学びの場」などをつくり、子供とお年寄りの世代間交流活動を促進します。	1,469
【児童措置費】	◎<新規>子ども医療費助成事業 地方創生(先行型) 子育て世帯への経済的負担軽減を図るため、新たに小学生への医療費助成を開始します。	15,409
【農業振興費】	◎<新規>農産物等直売施設整備費支援事業 地方創生(先行型) JAあぶらんど萩が椿に新たに展開するファーマーズマーケットの設備整備にかかる経費を支援します。	10,000
【水産業振興費】	◎<新規>活イカ水槽海水温対策支援事業 地方創生(先行型) 「須佐男命いか」の畜養水槽の海水温を安定化させるため、夏場の海水温対策に必要な設備を支援します。	8,000

【商工業振興費】	◎＜新規＞萩市産品開発販路拡大支援事業 地方創生（先行型） 首都圏等への流通拡大を目指し、急速冷凍装置を購入し産品開発や6次産業化を促進させます。	4,080
【観光振興費】	◎＜新規＞萩観光映像技術活用支援事業 地方創生（先行型） スマートフォン等において、最先端の映像技術を活用した観光案内を行う観光アプリを作成します。	10,404
【観光振興施設費】	◎＜新規＞世界遺産観光活用事業 地方創生（先行型） 世界遺産の登録を見据え、シャトルバスの運行や駐車場の整備等観光客の受入体制の整備を行います。	49,420
【教育委員会事務局費】	◎＜新規＞観光地等公衆無線LAN環境整備事業 外国人観光客の増加が見込まれることから、主要観光地や道の駅に無料の公衆無線LAN（Wi-Fi）の環境を整備します。市内9か所、道の駅5か所。	4,866
【中学校管理費】	◎＜新規＞高等学校生徒通学費支援事業 地方創生（先行型） 少子化と高等学校（普通科）進学が多様化する中、市内の生徒が地元の高等学校へ進学しやすい環境整備を図るため通学費補助を行います。	7,670
【中学校管理費】	◎＜新規＞スクールバス購入事業 田万川中学校のスクールバスの運賃・料金制度の見直しがされ、委託料が大幅に増額されることより、バスの購入を図り委託料の増加を抑制します。	6,829

議案第6号 平成27年度萩市一般会計予算

当初予算は、災害復旧・復興関連事業の減少などから、予算規模が前年度対比で13.2%減の316億5,400万円となっています。市税や地方交付税の減少する状況の中でも、大河ドラマ「花燃ゆ」の放送や世界遺産登録を見据えた施策、明治維新150年に向けての施策など、観光振興はもとより市勢発展のための施策への積極的な予算計上がされており、評価できるものです。

また、子ども子育て支援新制度の開始や、多子世帯に対する保育料の助成制度の拡充など盛り込まれています。

投資的経費では、災害復旧費が大幅に減少したことにより、前年度の予算額に比べると31.2%の減となっています。一方で、災害復旧事業以外の普通建設事業では、27年度中の事業完了を目指した学校耐震化関連事業の増加等により、逆に21.4%の大幅な増額となる予算となっています。

特定の事業で賛否の判断をせず、全体の効果をご検討いただく事を申し上げ賛成討論とします。

賛成

討論

反対

平成27年度萩市一般会計当初予算は、藩校明倫館復元事業や旧明倫小学校校舎活用事業など、明治維新150周年に向けた事業が目白押しです。これから、どれだけの予算がつき込まれるのか、想像もつきません。観光や世界遺産と名がつけば、いくらでも事業費をつぎ込むことには疑問です。

一方で、子どもの医療費助成の拡大や高校生の通学費助成など、市民の暮らしの支援には、一部負担金や制限がつけられています。観光事業なら湯水のごとく予算をつぎ込むのに、市民の暮らしとなると渋るように思えてなりません。

市長は、農業施策について施政方針で、法人化・大規模化ということを言われ、法人化しないところは努力をしていないと言われます。法人化・大規模化を否定するわけではありませんが、個別農家も協力して、地域の農業を支えています。

法人化・大規模化一辺倒の農政を転換するよう考え直してほしいと思います。

以上、主な反対理由を述べて討論とします。

一般質問

3月9日から11日まで15人の議員が、一般質問を行い、その質問項目の一部を掲載します。

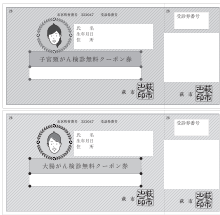


がん検診受診率の向上について
佐々木 公恵
(公明党)

【問】がんは、今や国民病と言われ日本人の2人に1人が、がん罹ると言われています。市では、肺・胃・子宮・大腸・乳がんの検診に補助が行なわれています。しかし、受診率は平成23年度で18%でしたが、24・25年度では11%と減少しています。さらに、がん検診無料クーポン券での受診率は15%を切り、特に男性の大腸がん検診は、平均5.2%とかなり低い受診率です。国は、がん検診受診率50%を目標としています。がん検診受診率向上について、市の取り組みを伺います。

【答】市では、受診率向上のため、平日は勤務等で受診が困難な方のために、休日検診を年間3回程度実施しています。医療機関と連携した平日夜間検診も行い、検診機会の確保に努めています。今後も「保健ガイド」の全戸配布や、市報・ケーブルTV等での広報に努めるとともに、医療機関での案内や保健推進員や食生活改善推進員等による勧奨を引き続き行います。また、事業所との連携による勧奨や出前講座を積極的に開催し、周知を図っていきます。

《他の質問項目》
○福祉・女性の視点からの防災対策について



がん検診無料クーポン券



スクールハラスメントについて
五十嵐 仁美
(日本共産党)

【問】市内の中学校で、教師による生徒へのスクールハラスメントがあったとのことですが、不快な思いをした生徒への十分な心のケアをされたのかお尋ねします。

また、市内の小中学校で、同じような問題がないかも併せてお尋ねします。
次に、体育や身体計測時の更衣について、児童生徒への配慮は十分にされていますか。
最後に、教師による児童生徒への体罰や暴言、嫌がらせやいじめなどが行われていないかお尋ねします。

【答】スクール・ハラスメントは、児童生徒がどう受け止めるかが重要であり、生徒の心のケアを第一に考え、学校と連携して取り組んでいます。
更衣は、男女別室を基本とし、可能な限りの配慮をしています。
現在、教師による児童生徒への体罰や嫌がらせなどの報告はありません。
教職員が適切な人権感覚のもとハラスメントや体罰に対する正しい認識をもち、児童生徒との信頼関係を基盤として、安心して学校生活を送れるよう取り組んでいきます。

《他の質問項目》
○子どもの医療費助成について
○中津江地区の高齢者の交通対策について



日本ジオパークを活用し1次産業と萩焼の振興を
関 伸久
(過疎問題を考える会)

【問】市は日本ジオパークの認定にむけ動きははじめました。先は世界ジオパークを見据えます。仮に世界遺産登録とこれが叶えば、萩市は山口県のなかで絶対的な存在となります。これを旨とし、観光振興を図りましょう。人口を2倍にすることは困難でも観光振興により観光人口を2倍にすることは可能です。ところで市民との協働が重要とされるジオパークですが認知度は高くありません。そこで産業の振興も兼ねて推進しませんか。なぜ萩市の農水産物はおいしいのか、なぜ萩焼の土に見島の土が使われているのか、というところから辿ってジオパークを推進した方が市民の関心も高まります。これは火山活動の物語であると同時に産業振興の物語でもあります。優秀なガイドも必要です。取り組みに期待します。

【答】ジオパークは世界自然遺産とは異なり、資産の保護保全だけでなく活用も重視されます。農水産物や萩焼など「萩にしかないもの、萩にあるもの」を大事にし、大地と人との関わりの物語と位置づけ地域振興に活用したいと考えています。ガイドの養成は喫緊の課題であり、充実を図っていきます。
なお、世界ジオパークについては、他地域とも連携した取り組みが必要になると考えます。まずは、28年度の日本ジオパーク認定を目指します。

《他の質問項目》
○民間活力を生み出す為のキャリア教育を
○萩市の子どもは萩市で育てる、その施策について問う



長時間労働を止める
という少子化対策に
ついて

大久 勲
(新友会)

【問】真の少子化の原因は、夫の長時間労働と言われる方がいます。「max長時間労働」でネット検索するとその提案が見られますので、皆さんにも見て頂きたいと思います。

小室淑恵さんが代表を務める働くフック・ライフバランスは労働時間の削減と業績の向上の支援をされています。

今年度、本市一般職に1億7000万円の時間外手当が予算化されていることから、残業削減の目的からも、この指導・助言を受け「長時間労働を止める」という少子化対策」に取り組んだ初めての自治体になりませんか。

【答】現在、萩市東部集中豪雨災害の復旧・復興のため、災害復興局を設置しています。県内他市及び姉妹都市から職員の派遣支援も受けて、短期間に実施される災害査定等を終えるために、職員は超過勤務をしながら業務に取り組んでいます。

振替休日を取ることもできない状況です。ご理解をお願いします。

市では、毎週水曜日をノー残業デーに指定して、職員の超過勤務の縮減に努めているところです。

《その他の質問項目》

- 大河ドラマ館・旧明倫小学校校舎について
- 御成り道の一方通行規制について
- 魚食普及施設計画策定事業について
- 地域おこし協力隊について
- プレミアム商品券について



災害復旧について

美原 喜大
(新友会)

【問】平成25年7月の林道災害について、林道の全体的な被災の把握と災害復旧事業の対象となっていない林道について、今後どう対応しますか。作業道については、自らが復旧できる支援策として、例えば20万円事業のような施策の継続はできませんか。また、復旧できないところは、市での対応を考慮してほしいと思いますが、いかがですか。

【答】今回の災害で被災があった林道は3地域合計22路線です。そのうち補助及び単独の災害復旧事業で対応したものは21路線です。災害復旧事業の対象となっていない林道については、今後の維持管理のあり方も含め検討していきますが、当面は地元協議のうえ、仮復旧を行っています。作業道については、地元が重機借上げ等による復旧作業を実施した場合の支援制度について検討します。受益者負担も必要となりますので、ご理解をお願いします。



災害復旧の対象になっていない林道の様子

《その他の質問項目》

- 合併後10年を振り返って（検証）
- 光ケーブル導入について



認知症について

守 永 忠 世
(無所属)

【問】「国民病の一つ」と指摘されている認知症は記憶力や判断力などが低下し、日常生活に支障が出ている状態です。

認知症状の高齢者は2012年で462万人ですが、2026年には、700万人を大幅に超えると推定されています。

今後、病気やケアの情報交換・介護者の心の健康・資金援助等、患者家族を支えるサービスについて皆で学んでいく事が大切ではないかと思えます。

そこで、市の現状を踏まえ、どのような計画のもと、どのように取り組んで行くのかお尋ねします。

【答】認知症は、超高齢社会の最大の課題と認識しています。市では、認知症施策として

- ①認知症サポーターの養成などの普及啓発の推進
 - ②自主的な認知症予防への取り組み支援
 - ③徘徊・見守りSOSネットワークの拡充などによる徘徊高齢者への支援
 - ④居場所づくりや交流の場づくりなどによる家族介護者への支援
 - ⑤認知症ケアパスの作成や認知症初期集中支援チームの設置などによる相談体制・サービス供給体制の整備
- の5点を重点的に取り組むこととしています。

《その他の質問項目》

- 子供の体力・調査結果について
- 公立小中学校の学校給食について



高齢者のゴミ出しと
居老人対策について

佐々木 武夫
(公明党)

【問】高齢者は、指定された場所までゴミを運ぶことが困難になっています。

阿武町では、65歳以上で手助けが必要な方に対して地区友愛訪問員を決め、声かけ活動や、緊急時の連絡などを行い、活動報告を民生委員に報告するという「福祉の輪づくり運動」を行っていますが、ゴミ出しの援助はしていません。

また、地方創生では「生活・福祉サービスを集約化した『小さな拠点』形成」の取り組みもうち出されています。

今後、市として高齢者のゴミ出しや独居老人対策をどう考えるのかお聞かせください。

【答】介護保険制度の改正により、平成27年度から生活支援体制の整備が位置づけられます。

地域ニーズの把握やサービスの開発を検討し、生活支援の基盤整備を行う「生活支援コーディネーター」を配置します。

高齢者を支援する「むつみ元気支援隊」などの住民共助の取り組みを参考にしながら、社会福祉協議会と連携して、地域の実情に応じた共助による支え合い体制の構築に努めていきます。

《その他の質問項目》

○災害や防災に備え、再生可能エネルギー活用に関する町づくりについて



これからの6次産業
について

石 飛 孝道
(新志政和会)

【問】市の基幹産業である第1次産業を取り巻く環境は、非常に厳しいものがあります。これからの若者達が魅力を感じることで、第1次産業の抜本的な改革が必要だと思えます。農山漁村には、様々な資源が溢れています。これらの資源を有効に活用して、農林漁業者がこれまでの原材料供給者としてではなく、加工・流通・販売に取り組む経営の多角化を進め、農林水産物に付加価値を付けることが重要です。農山漁村の雇用確保や所得の向上が実現すれば、地域の活性化や若者の定住に繋がります。

そこで、これまでの6次産業化の現状と、これからの方向性についてお尋ねします。

【答】市では「6次産業化・地産地消法」に基づく総合化事業計画認定を受けた、4団体が先駆的取り組みを行っています。また「萩の地魚もつたないプロジェクト」「萩の木になるモノづくり協議会」「萩・阿西産業振興センター」では、地域資源を活用した農商工連携による新商品の開発が行われています。今後は、市内の道の駅と連携して、地場産品の直販を一層進め、経済の相乗効果を高めることにより、生産者の所得向上や雇用の創出に努めます。



萩しーまーと



衰退する農山漁村を
どう活性化しますか

宮内 欣二
(日本共産党)

【問】「農林水産業が合併の成否を決める」と言われて10年が経ちました。成功したと言えますか。評価とこれからの振興策をどうすすめますか。1%の人口増と地域内経済循環の1%増で人口は維持できるという理論をどう具体化しますか。エネルギー自給の効果が大きいソーラーシェアリング農業など具体的な取り組みを進めませんか。法人化しないと努力していないと言われますが、現実の農村を支えているのは法人だけではありません。個人農家への支援も必要ではありませんか。

【答】平成24年度を農業再生元年と位置づけ、労働力不足解消、耕作放棄地防止のため、単独市費による法人化・農地集積への支援や、ふるさと萩回帰応援事業などを実施しました。しかし、25年には東部の大災害、米価の下落が起きました。今後も農地の維持と所得の向上のため、意欲のある法人や高い技術を持った個人農業者、新規就農者などの支援を継続します。ソーラーシェアリング農業については、勉強したいと思えます。

《その他の質問項目》

○学校統廃合の萩市の方針について

○JR山陰線の市内駅の利用者の立場に立った総点検と改善について

○災害復旧と対応について



農作業風景



耐震化された旧明倫
小学校体育館は今後
どうなるのか

西中忍
(過疎問題を考える会)

【問】旧明倫小学校体育館は、現在、大河ドラマ館として活用されています。この体育館は、平成20年度に耐震工事が行われているので、全国から来秋される多くの観光客を安心して迎えることができることから、有効な活用方法だと思います。しかし、この大河ドラマ館も来年1月までと期限が決まっているので、閉館後、この体育館をどのように活用していくのか、市長の所見をお尋ねします。

【答】旧明倫小学校体育館は、国指定史跡「旧萩藩校明倫館」の敷地内にあり、NHK大河ドラマ館として来年1月未まで利用されます。大河ドラマ館閉館後は藩校明倫館の復元整備のため解体します。

文化庁との協議等が必要のため実施時期は決まっています。

出来るだけすみやかに解体工事を実施のうえ、遺構確認の発掘調査を行い、孔子廟等の明倫館遺構の移築復元を目指します。



大河ドラマ館（旧明倫小学校体育館）

《その他の質問項目》
。学校施設を除く公共施設の耐震化の予定は



高校生への
通学費支援問題

大村 越夫
(無所属)

【問】教育委員会が行う、通学費支援について伺います。萩市の子供は萩市で育てるとの理念は尊いものですが、今回の通学費支援がその現実的な意味でしたら、あまりにも矮小化した話ではないでしょうか。村田清風の「四峠の論」、松陰先生と佐久間象山、河井継之助と山田方谷、勝海舟と坂本龍馬の例のように、志のあるところ師を外に求めることもあるのでないかと思えます。良質な教育と高等教育機会への公平な投資を増やしていれば、社会的モビリティを促進し、萩の発展に資するものではありませんか。市内の高校を選んだ子も、市外の高校を選んだ子も、等しく公共の支出の恩恵に浴することが大切だと思います。お考えを伺います。

【答】高校生への通学費支援は、市内の高校に通う生徒がほとんど減少するのではないかという危機感から実施するものです。

「四峠の論」は、萩市の志教育に大きな影響を与えるもので、大きな志を持って羽ばたいていくことは大事なことです。

しかし、せめて高校までは萩で学んで欲しいと思います。この制度は「ふるさと萩を誇りとし、志を抱き、社会に貢献しようとする人を育てる教育」をこれからも推進していくため、必要な施策と考えています。

《その他の質問項目》
。萩・幕末維新検定試験等について
。ふるさと納税について



地方自治体は地方創
生にどう対応すれば
よいのか

斉藤 眞治
(新生会)

【問】「地方が主役」を実現し、将来にわたって活力ある社会を維持するために、まち・ひと・しごと創生の好循環の確立や、個性豊かな魅力ある地域社会をつくること求められています。その地方創生の理念から、次の内容についてお尋ねします。

①ゲリラ豪雨による水害や土砂災害へのインフラ整備、公道の安全対策について、市全域の小学校校区単位で、行政・住民・消防団を交えた協議の場とした、事前防災・減災計画策定地域研究会（仮称）の設置が必要ではありませんか。

②新しい農業の姿として、都会で働く若者（後継者）が、故郷に帰って農業ができる、新しい休暇制度の新設について、労働基準法改正案と絡めて政府に求められませんか。

【答】災害対策基本法が改正され、地区住民や事業者は、共同で市防災会議に地区防災計画の素案を提案できるようになりました。

消防団や自主防災組織の話し合いの場や組織を設けるのか、各地の実情や要望を踏まえてあり方を検討していきます。

また、法の趣旨に沿って、土砂災害特別警戒区域や津波想定災害対策をしっかりと検討します。

農業については、新規就農者の確保や集落営農などに取り組み、耕作放棄地を防ぎたいという思いで色々な施策を講じています。労働基準法の改正の動きはしっかりと見守っていききたいと思います。



「産後ケアセンター」の整備について

中野伸
(新生会)

【問】多世代同居が減り、産後に頼る人がいない母親が増えている一方、出産時の入院期間は、以前1週間程度でしたが、現在では、短くなっています。全国的には、授乳にも慣れないまま退院し、育児不安や過労により、出産後に1割が産後にうつ傾向になると言われています。虐待に発展したり、第2子以降の出産を困難にしたりするケースもあります。助産師が常駐し、産後の母体の回復や赤ちゃんの健康チェック、沐浴や抱き方などの育児指導や育児相談も行う「産後ケアセンター」を整備されてはどうか。

【答】妊娠期から担当地区別に、保健師を配置して個別相談会を実施しています。また、母子相談室・健康相談会の開催や、民間助産師による妊産婦・新生児訪問指導など相談指導体制を整えています。保健師・管理栄養士及び臨床心理士による親子を対象にした相談や健康診査時の相談も実施するなど妊娠・出産・子育てと切れ目のない支援を行っています。「産後ケアセンター」については、事業詳細を確認のうえ必要性について検討したいと思います。

《その他の質問項目》

- 道路行政
- 観光行政



地方創生に向けた実効性ある外部人材の活用について

波多野勝
(新友会)

【問】大都市以外の地方は、どこも人口減少に悩んでいるというのが現状です。地方創生に取り組みにあたり国の制度である「日本版シティーマネージャ制度」や各府省庁の相談窓口となる「地方創生コンシェルジュ制度」「地域おこし協力隊」などを活用して、人材確保をしてはどうですか。

人口減少対策という困難な課題に取り組むためには、原因を分析・検討し、その要因に対応した専門的な能力を持ち、地元の気づかない視点で萩市の良さを発見してくれる外部からの人材の活用が必要ではないでしょうか。

【答】市では、これまでも「萩シーマート」の責任者や博物館長・図書館長・学芸員を全国公募するなどし、外部人材を活用してきました。地方創生コンシェルジュ制度については、上手く活用していきたいと考えています。地域おこし協力隊についても、若い皆さんが意欲を持って地方の創生を実現できる可能性があり、しっかり受け入れを調整していきます。今後も、広く人材を求め、見識や知見を外部から求めることを忘れず、取り組んでいきます。

《その他の質問項目》

- 高く売れる6次産業化の推進について



三見地区の交通確保について

松尾義人
(新生会)

【問】現在、三見地区では、JR線の昼間の減便に伴う代替措置として、防長バスが4便、運行されています。三見中山から三見駅間は、ノンストップで途中のバス停はありません。利用者の多くは高齢者です。利用者から途中で下車したいとの声もあります。

また、三見駅までの福祉タクシーの利用も前日予約であることから利用しにくいとの声もあり最近では、利用者がいないのが現状です。三見中山から三見駅間にバス停の増設及びフリー乗降が出来ないものかお尋ねします。

【答】三見中山から三見駅間のバス停の増設やフリー乗降については、三見地区の住民の方のバス利用が大変多いことから、防長交通や萩警察署等と協議をしながら、ご要望に对应できるように対応していきたいと思っています。



三見駅前バス停

《その他の質問項目》

- 萩市の組織について

総務委員会

地方創生関連事業を前倒し実施 ～プレミアム付商品券の発行を含め約2億3千万円を計上～

常任委員会の審査の概要をお知らせします

総務委員会には、平成26年度萩市一般会計補正予算(第5号)が付託され、すべて可決すべきものと決しました。審査の主な内容は次の通りです。

○平成26年度萩市一般会計補正予算(第5号)について

今回の補正予算額は、2億3150万円で、「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」を受けた国の補正予算(1号)に対応し、市勢の発展及び市民の生活を守ることを主眼に行われます。

・プレミアム付商品券発行支援事業(8896万円)
問 1セット(1万円)しか購入できませんか。
答 発売から1ヶ月間は1世帯1セットのみですが、交換期限経過後で、余りがあれば追加で3セットまで購入が可能です。
問 1万円で1万2000円の商品券が購入できますが、購入最低金額は1万円ですか。
答 その通りです。



プレミアム付萩市共通商品券

問 どうやって周知を図りますか。
答 全世帯にハガキで通知します。

問 ハガキ代が相当かかりますが、ポスター・市報・ケーブルテレビ等を利用して周知することはできませんか。
答 ハガキを使う理由は、本人確認も兼ねているためです。

また、引換券の役割も持たせています。
問 ハガキを紛失した場合、どうなりますか。
答 原則、再発行はしませんので、大切に保管してください。

・高等学校生徒通学費支援事業(767万円)
問 市外の高校ではあるが奈古高校・大津緑洋高校水産キャンパスがこの事業の対象です。大津緑洋高校水産キャンパスへの進学者は直近で何人ですか。
答 26年4月の進学者で8人です。

問 市内の高校に行きたくても、行けない子どももいます。公平性について、どう考えますか。
答 市内の高校の定員は奈古高校を含めて470人です。昨年の市内中学校の卒業生は422人で、今年は399人です。定員として

は十分に確保できており、市内の高校進学に際して、大きなネックがあるとは考えていませんが、やむを得ず、ご本人の希望で市外の高校を選ばれる場合は、あくまでもこの事業の対象にはならないということで、市外の高校への進学を否定するものではありません。

問 支援金額を引き下げて全員が対象になるようにできませんか。
答 この通学費支援事業は国の交付金を活用して行う初めての事業です。今回はこのプランで実施し、今後、関係者の意見を聞いて、必要な検証を行っていきます。

○萩市一般職の任期付職員の採用に関する条例について
問 任期付職員を採用するにあたり年齢制限はありますか。
答 年齢制限はありません。
問 どのように公募を行いますか。
答 市報・ホームページ・都市部の就職ガイダンスで

公募を行います。
問 この職員は正規職員になりますか、それとも非正規職員ですか。
答 地方公務員法の適用になることから、正規職員となります。

問 任期終了後の更新制度はありますか。
答 採用試験を行い、改めて選考します。
問 どういう職種を想定していますか。
答 発掘調査などの文化財保護にかかわる業務量が多くなる見込みですので、そのあたりの職種を想定しています。

問 再任用制度との棲み分けをどうしますか。
答 再任用制度は、定年退職の方のみを対象にしていることから、棲み分けは可能です。



教育民生委員会

国保被保険者 (40歳) 対象に人間ドック無料化

教育民生委員会には、平成27年度国民健康保険事業(事業勘定)特別会計予算などを含む議案30件が付託され、すべて可決するものと決しました。審査の主な内容は、次の通りです。

○平成27年度萩市国民健康保険事業(事業勘定)特別会計予算

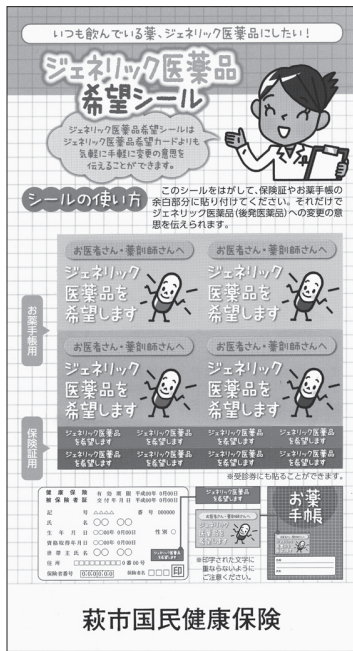
予算額は、歳入歳出それぞれ83億5850万円を計上し、前年度予算と比較し10億6290万円の増額となつていきます。

問 医療費の抑制対策の、取り組みは何ですか。

答 27年度より特定検診が始まる40歳の市民を対象に、人間ドックを無料にし、健康に対する意識改革を図ります。

問 ジェネリック医薬品の利用状況についてはどうですか。

○平成27年度萩市休日急患診療事業特別会計予算
予算額は、歳入歳出それぞれ1億690万円を計上し、前年度予算と比較し1



答 ジェネリック医薬品の利用については、23年12月は20・4%でしたが、27年1月は32・3%と伸びています。

また、ジェネリック医薬品希望シールの配布も、引き続き行い医療費抑制に努めます。

○平成27年度萩市病院事業会計予算
27年度業務予定量は、1日平均入院患者数が93人、外来患者数が291人を見込み、また、主な建設改良事業としては、医療機器等購入事業1億2155万2千円を予定しています。

90万円の減額となつていきます。

問 利用状況は、どうですか。

答 一日当たりの平均患者数は、25年10月3月までの半年間で、医科が65・9人、歯科が8.9人です。25年10月から26年9月までの1年間では、医科が61人、歯科が8.9人です。

○萩市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例
これは地方教育行政の組織及び運営に関する法律の

一部改正により、教育長の職務に専念する義務が規定されたことに伴い、当該義務の特例を定めるため、条例を制定するものです。

問 看護師の夜勤手当と、夜間勤務体制はどのようになつていきますか。

○平成27年度萩市後期高齢者医療事業特別会計予算
予算額は、歳入歳出それぞれ8億9780万円を計上し、前年度予算と比較し3110万円の増額となつていきます。

問 保険料増額の理由は何ですか。

答 高齢化に伴い被保険者の増加によるものです。

○萩市へき地保育所条例を廃止する条例
鈴野川へき地保育園を廃止するため、条例を改正するものです。

問 地元住民に、どのように説明をされましたか。

答 昨年11月に民生委員・行政推進委員に説明をし、地域住民に対しても文書で周知を図りました。

問 今後の入園児の対応は、どのようにされますか。

答 今後、入園希望があった場合は、通園バスによる須佐保育園への送迎を考えています。

問 どのような制度ですか。

答 教育の政治的中立性、継続性及び安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、地方公共団体の長と、教育委員会との連携の強化等、制度の抜本的な改革を行うための、地方教育行政制度です。

経済建設委員会

平成28年度末に上水道事業と簡易水道事業を統合予定

経済建設委員会には、9つの特別会計予算を含め、13議案が付託され、全て可決すべきものと決しました。
主な審査の内容は、次の通りです。

○平成27年度萩市駐車場
事業特別会計について
○平成27年度萩市農業集落
排水事業特別会計について

問 各駐車場で、定期利用の状況は怎么样了か。
答 新堀駐車場は120台中70台、越ヶ浜駐車場は76台中29台、大照院駐車場は16台中15台です。

問 各駐車場の空きスペースをどのように活用して行きますか。
答 市報等で利用者を募集します。

また、空きスペースは、祭りやイベント等の駐車場として利用しています。
○平成27年度萩市簡易水道事業特別会計について

問 27年度の災害対策等関連事業はどのようなものがありますか。
答 27年度は水道管布設替事業や災害発生時の早期復旧等を目的とした水道施設の一管理システム構築事業があります。施設の耐震化については、今後も計画的に各地域の施設耐震化及び老朽管の更新をしていきます。

○平成27年度萩市水道事業会計予算について

問 上水道事業と簡易水道事業の統合を進めています。料金はどうなりますか。
答 これまで、水道料金の改定を行って来ましたが、今後は、財政状況や県内の状況を勘案しながら、改定期や改定額については、慎重に検討していきます。

○平成27年度萩市簡易水道事業特別会計について

特別委員会報告

2委員会とも調査を終結

～ 3月26日 最終報告が行われる ～

主要道路整備促進調査特別委員会

26年度は委員会を8回開催し、未事業化区間である山陰自動車道（益田～萩間）に重点を置き調査・研究を行いました。昨年10月に同自動車道の整備率の高い島根県・鳥取県を視察し、これまでの取り組みをヒアリングするとともに、道路の整備方針においては国土交通省が行うアンケート調査の対応が極めて重要であるとの認識に達したところです。本年3月には、萩市においても同様のアンケート調査が実施されたことから、視察の経験を踏まえた一応の対応ができたと考えております。アンケート調査の結果は、現時点で把握ができておりませんが、今後、優先区間絞り込みが完了し、予定路線からの格上げが期待されています。また、もう一つの調査対象である地域高規格道路小郡萩道路は、絵堂～明木間の事業化が決定したところです。以上より、これらの主要道路の整備促進という本特別委員会の所期の目的は達成されたものと判断し、今後は議長に対し萩市議会の経済建設委員会に所管替えを行うことを要望して、本特別委員会の最終報告とします。

※4月2日、萩～大井（15km）・阿武町木与付近（5km）・田万川～小浜（5km）が、優先的に整備されることに決まりました。

産廃処分場建設問題調査特別委員会

3月6日、委員会を開催し、昨年12月、産廃処分場建設事業者、萩 福栄水と命を守る会、萩市の3者が「産業廃棄物処理施設の設置の禁止等に関する協定」を締結したことから、特別委員会設置の所期の目的が達成されたと判断し、調査の終結を決定しました。

議会の構成・運営に関する研究会

この研究会は、議長から諮問を受け設置されましたが、議論の中心は、同時に設置された2つの分科会で行われています。

各分科会から出された報告をもとに、今後、研究会での議論が本格化します。

○議会構成分科会

議会構成分科会は、議会構成・運営に関する研究会会長（副議長）に「議員定数削減」の報告書を提出しました。

今後、議員定数については、研究会にて協議されることになります。議員定数に続き、本分科会では議員報酬についての協議を開始しました。1月以降、計3回の協議を行い、研究会会長に報告者を提出しました。

○議会運営分科会

議会運営分科会では、これまで毎月1回のペースで会議を行い、萩市議会としてめざすべき議会運営のあり方について検討を行い、これまでに常任委員会・政務活動費・一般質問について、意見集約を行いました。

今後は、「議会の見える化」を行うため、委員会のテレビ中継・閉会中の委員会活動活性化・議会報告会の開催・議会だよりの更なる活用などについて議論を深めていきます。

人事案件

教育長の
任命について
中村哲夫氏
(萩市椿東)

教育委員会委員の
任命について
吉田幸良氏
(萩市上小川西分)

公平委員会委員の
任命について
石橋親人氏
(萩市江向)

人権擁護委員の
候補者の
任命について
竹本昇氏
(萩市佐々並)

それぞれ
同意しました。

大河ドラマ館



椿東保育園（市営住宅との複合型）



平成26年度に完成した おもな公共施設



須佐保育園



萩・長門清掃工場

議会を傍聴しませんか

萩市議会では、本会議に加え、常任委員会・特別委員会などを公開しています。

傍聴を希望される方は、受付で住所、氏名を書いていただくことになります。

<受付場所>

- ・本会議：本会議場傍聴ロビー
- ・各委員会：議会事務局

<傍聴で守っていただくこと(抜粋)>

- ・声を出したり、拍手などはしないでください。
- ・帽子・コート・マフラー等は、着用しないでください。
- ・飲食や喫煙は、しないでください。
- ・議長や委員長の許可なく、録画や録音はしないでください。
- ・携帯電話は、必ず電源を切るかマナーモードにしてください。
- ・傍聴席では、係員の指示に従ってください。



萩市議会の会議録を萩市ホームページからも見る您可以通过。

<http://www.city.hagi.lg.jp/site/gikai/>

(問) 萩市議会事務局 TEL 0838-25-3144



田万川
地域

トリムマラソン



川上
地域

ミニミニ運動会



萩
地域

萩・長門清掃工場竣工式



須佐
地域

祝 萩市須佐保育園

須佐保育園竣工式



むつみ
地域

むつみ演習場野焼き



旭
地域

佐々並ユニカール大会



福栄
地域

福栄武道教室

議員控室

桜のころ

3月、4月は別れと出会いの時期です。

先日、高校を卒業した娘が、自ら進んで家の手伝いを始めました。目を丸くして娘を見ると、複雑な表情をみせました。

娘の荷物が少しずつ減り、部屋が広くなっていました。

数日後、他県に巣立って行きました。

何とも言えない気持ちを抱えながら、市役所で転出の手続きをしました。市役所の帰り道、ふと見上げると、ひとつひとつの桜の花たちが私を見ていました。

桜には不思議な力があります。なぐさめ、励まし、勇気、喜び・・・

桜のころを感じたひと時でした。娘のすばらしい出会いを祈っています。

佐々木 公恵



編集後記

日頃より「議会だより」をご愛読いただきありがとうございます。昨年4月、新しく選ばれた9人のメンバーで編集作業を行ってきましたが、早いもので1年が経ちました。「市民の皆様に分かりやすく、読みやすい」紙面を作るため、編集委員会のメンバーがそれぞれ工夫を凝らしながら作業を行ってきました。平成27年度も、議会活動や議会の様子を分かりやすく市民の皆様にお知らせするため、気持ちも新たに編集作業に取り組んでいきます。

議会だより編集委員会
委員長 西中 忍
副委員長 佐々木公恵
委員 石飛 孝道
小池 孝道
小林 正史
関 伸久
松尾 義人
美原 喜大
森田 哲弘